



白太夫 生誕一千二百年

天神さまこと菅原道真公の筆頭従臣とされる、白太夫(本名 渡会春彦)。当宮記録に基づけば、本年は白太夫の生誕一千二百年であります。

白太夫は元々、伊勢の豊受大神宮外宮の神職で、禰宜を勤めていた人といわれており、本名は渡会春彦ですが、生まれつき髪の毛が白かったので白太夫と呼ばれていたと伝えられています。

ある時、菅原是善卿というお方が、それまで長男、次男と早くに亡くし、今度生まれ来る三男は元気で丈夫なお子を授けてほしいと、弟子の島田忠臣を遣わして、白太夫に子授け安産のご祈禱を依頼したところ、承和十二年(八四五)六月二十五日にお生まれになったのが後の菅原道真公であるといわれております。

白太夫の験力あらたかなる事に感じ入られた是善卿は、幼い道真公の傅役として仕えてくれるようお願いし、白太夫も御縁を感じて道真公にお仕えるようになったと伝えられています。

月日は流れ、道真公は学問でも政治でも活躍し、右大臣の位にまで昇られました。昌泰四年(九〇一)、藤原時平らの讒言により無実の罪を被せられ、九州大宰府へと左遷されます。

白太夫はこの時点で既に八十歳を超えていましたが、道真公と共に大宰府まで随行したといわれています。しかし、白太夫にも家族など一族がおり、この一族まで左遷先で苦しい生活をさせるのは忍びないと、道真公は一族に大阪梅田の地で留まるように申し伝え、一族もここで道真公のお帰りを待ちますとして留まりました。この時に梅田に残った一族の子孫が現在の当宮の神職家であるとされています。

その為、当宮には白太夫からの代々の系図書が残っており、そこには「春彦 延喜四年甲子二月廿五日 寂行年八十三歳」と逝去年が記されています。この年齢は数え年である事から、満年齢八十二歳として、延喜四年(九〇四)から八十二年を引くと、弘仁十三年(八二二)の生まれとなり、本年はちょうど生誕一千二百年となります。

白太夫については様々な伝説がある事から、当宮の由緒も諸説の一つではあります。現今白太夫は安産子授けの神様として信仰されています。

今年の御旅社の梅花について

毎年、茶屋町の御旅社では梅田の名の由来となった紅梅が二月には花を咲かせておりますが、本年は、昨夏のミノムシ大発生による虫害により、花芽の殆どを食べられてしまい、御旅社本殿前の紅梅は花が殆どついていない状態です。

現在、ミノムシ(オオミノガ)は全国的に生息数を急激に減らしており、地域によっては絶滅危惧種に指定されているところもある事から、無闇に駆除する事も控えられ、対処も難しい状況です。しかしながら、昨夏の被害で樹勢が大変弱った事から、本年は専門家の意見なども伺い、対策を講じて参りたいと思います。

コロナ禍第六波 御朱印について

コロナ禍第六波の変異株である、オミクロン株により、先月廿七日から大阪府では蔓延防止等重点措置が発令された事に伴いまして、茶屋町の御旅社で土日午後以降に授与しております御朱印は書いたものをお渡しする形でご対応させていただきます。また、感染状況によっては全面中止も視野に入れております。何卒ご了承下さいませ。

厄年の御祈禱

当宮では厄年の厄除け祈禱を受け付けております。左表にもあります通り、それぞれ厄年がございますが、特に数え年の男性四十二才(昭和五十六年生)、女性三十三才(平成二年生)の方は大きな厄年となります。

当宮での御祈禱はご予約制です。事前にお電話かメール等でご予約下さい。(初穂料五千円)

- ・御本社(神山町) 〇六―六三六一―二八八七
- ・御旅社(茶屋町) 〇六―六三七一―一五八六
- ・メール tunashiki@jinja.jp

男 性		
前厄	本厄	後厄
平成 11年生(男) 24歳(小厄)	平成 10年生(男) 25歳(中厄)	平成 9年生(男) 26歳(小厄)
昭和 57年生(女) 41歳(中厄)	昭和 56年生(男) 42歳(大厄)	昭和 55年生(中) 43歳(中厄)
昭和 38年生(男) 60歳(小厄)	昭和 37年生(男) 61歳(中厄)	昭和 36年生(女) 62歳(小厄)
背景が紫色は大厄、黄色は中厄、白色は小厄です。なお記載の年齢は数え年です。		

女 性		
前厄	本厄	後厄
平成 17年生(男) 15歳(小厄)	平成 16年生(中) 19歳(中厄)	平成 15年生(女) 20歳(小厄)
平成 3年生(女) 36歳(中厄)	平成 2年生(女) 33歳(大厄)	平成 元年(女) 34歳(中厄)
昭和 62年生(男) 36歳(中厄)	昭和 61年生(男) 37歳(中厄)	昭和 60年生(女) 38歳(中厄)
昭和 38年生(男) 60歳(小厄)	昭和 37年生(男) 61歳(小厄)	昭和 36年生(女) 62歳(小厄)



網敷天神社 SNS、地図サイト

編著 網敷天神社

禰宜(御旅社 神主) 白江 秀 知

